

お恥ずかしい

Molly Journal120

2008.4.23

この週末、二度目のスペイン村へ行きました。昨年3キロマラソンを走りましたが、今年は10キロにランクを上げました。10キロ走って見たら、3キロマラソン（参加者はほとんどが子どもとその両親でした）を走ることが、何てばかげたことだったのかと気づかされましたが、日本での生活が長くなって、おばかに見られることを気にしなくなったことが、すばらしい思い出づくりに役立っています。

私の“これって、もしかして恥ずかしいこと？”のほとんどは、学校においてです。毎年ハロウィンの時には、ごくごく普通のことを行っているかのように、ハロウィンの仮装で学校を歩き回っています。昨年のハロウィンは学校にいませんでしたが、違う年に、いつもより多く子どもたちが笑って、私に話しかけてくれたことは、“ちょっと恥ずかしい思い”をした価値があります。そういうことを進んでやりたがらない人がいることは知っています。「日本の大人は、絶対やらないだろうなあ」と彼らは言います。しかし生徒たちの反応と何ヶ月、何年と経っているのに、生徒や先生たちがその時のことを話してくれると、一日ばかげて見せるのも価値があると思います。

日本へ来る前なら、やろうとも思わなかったことが、かくし芸大会でのダンスです。日本に来た最初の年に、ALTのグループがチャリティのかくし芸大会を企画し、出し物をする人を多く募集しました。私にはダンスの才能があるとは口がさけても言わなかったでしょうが、私には無くすものはない、やってみようと思いました。私は、かくし芸大会と一緒に出る友だちよりも、ずっと多く練習しなければいけませんでした。結果的には楽しく演じられました。私たちは、かくし芸大会の賞に入りませんでした（全然驚くことではありません）素晴らしいダンスができ、お客さんたちは楽しんでくれました。これはチャリティのためでしたが、結局のところ、そのように賞を取れなくても素晴らしい結果になりました。

昨年は友だち数人と一緒にスペイン村の3キロマラソンに参加しました。それまで友だちの誰もマラソンで走った経験がなく、私たちはとてもひどい状態だったので、そんな短い距離を走るのでさえ実際にトレーニングをしたのです！私たちはレースに行き、参加者が誰も真剣に構えていないのを見て、友だちの何人かは戸惑っていました。しかし私たちは、ごく前向きな姿勢で走り（それでもほとんど子どもが私たちより速かったのですが！）、楽しい時間にしようと思いました。そして何と、後でスペイン村の無料入場チケットをもらったのです！

日本で、外国人でいると、たくさんの恥ずかしい状況を生みます。私はこのことに初めて日本に着いた時気がつき、それからというもの、恥ずかしい思いをしても気にしないようにしてきました。しかし私は、何でも笑顔でやってみること、そして明るい態度は、日本での私の生活を上手く運ぶ最善の方法だということ学びました。私はこのようにして、とても多くの友だちができ、すばらしい思い出を作っていると思います。この姿勢はこれからもずっと、たとえ日本を離れても、続けていきたいなあと思います。日本での私の生活は、これをなくしては、それほど楽しくならないでしょう。